

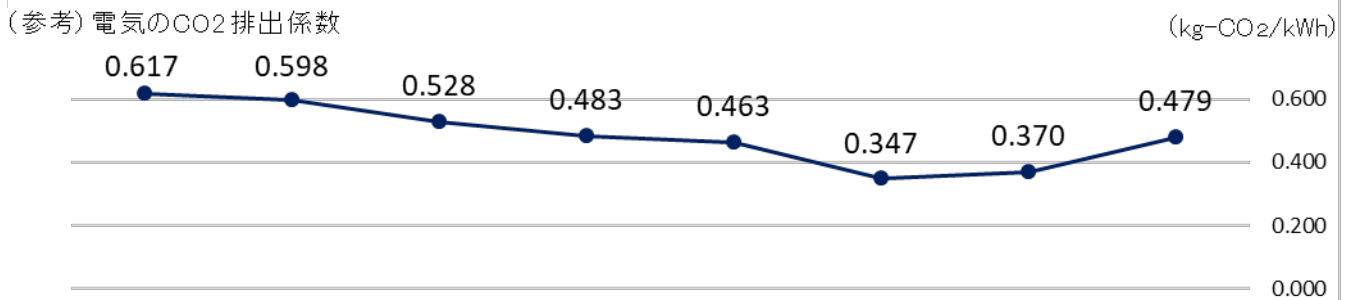
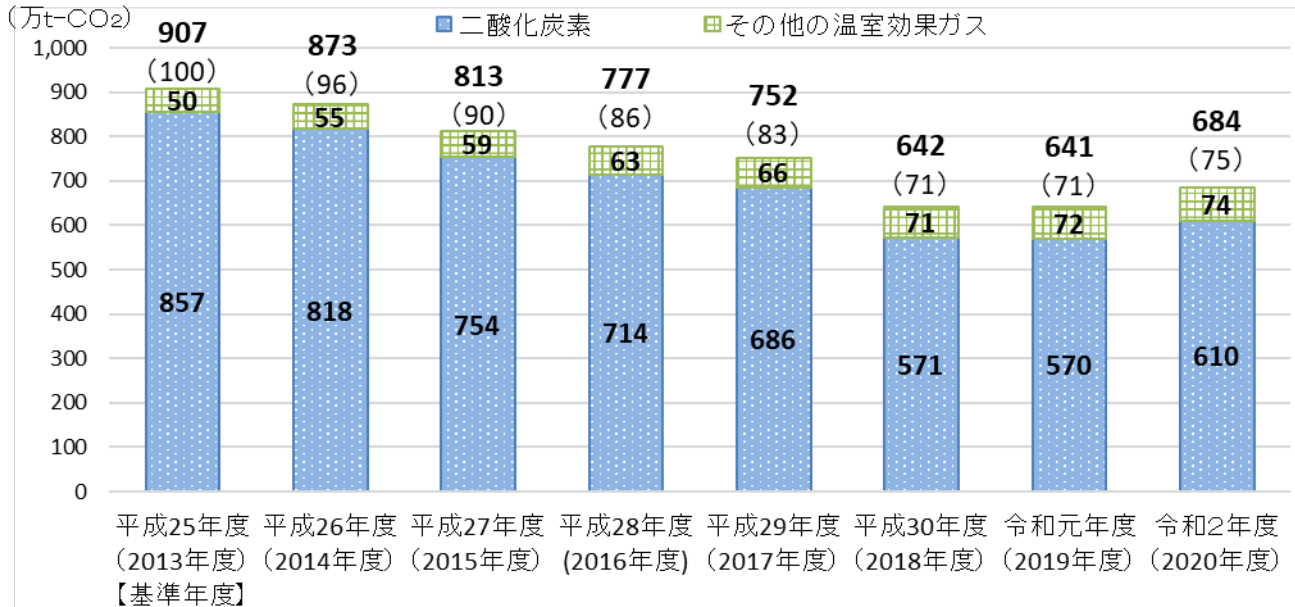
## 環境の状況

### IV 地球温暖化対策・エネルギーに 関するデータ

# 1 福岡市域における温室効果ガス排出量等の状況

福岡市域の2020（令和2）年度における温室効果ガス排出量は、684万トンと推計しており、福岡市地球温暖化対策実行計画の基準年度である2013（平成25）年度と比べ、25%減少しています。

## (1) 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）の推移



( )内の数値は平成25(2013)年度を100としたときの指数

※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある

※電気のCO<sub>2</sub>排出係数は、環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」の九州電力㈱の値

※電気のCO<sub>2</sub>排出係数の増加(0.370 → 0.479)要因(九州電力㈱ホームページより抜粋)

2020年度は、販売電力量が減少した中、原子力発電所の発電電力量が定期検査に伴い減少したこと、火力発電所の発電電力量が増加したことから前年度に比べCO<sub>2</sub>排出係数が上昇しました。

## (2) 3部門における温室効果ガス排出量の推移

	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和2 /H25年度比
温室効果ガス排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	907	873	813	777	752	642	641	684	▲25%
二酸化炭素排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	857	818	754	714	686	571	570	610	▲29%
家庭部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	257	236	212	196	189	136	137	168	▲35%
業務部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	302	281	242	221	209	153	160	191	▲37%
自動車部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	186	191	186	186	184	182	180	160	▲14%

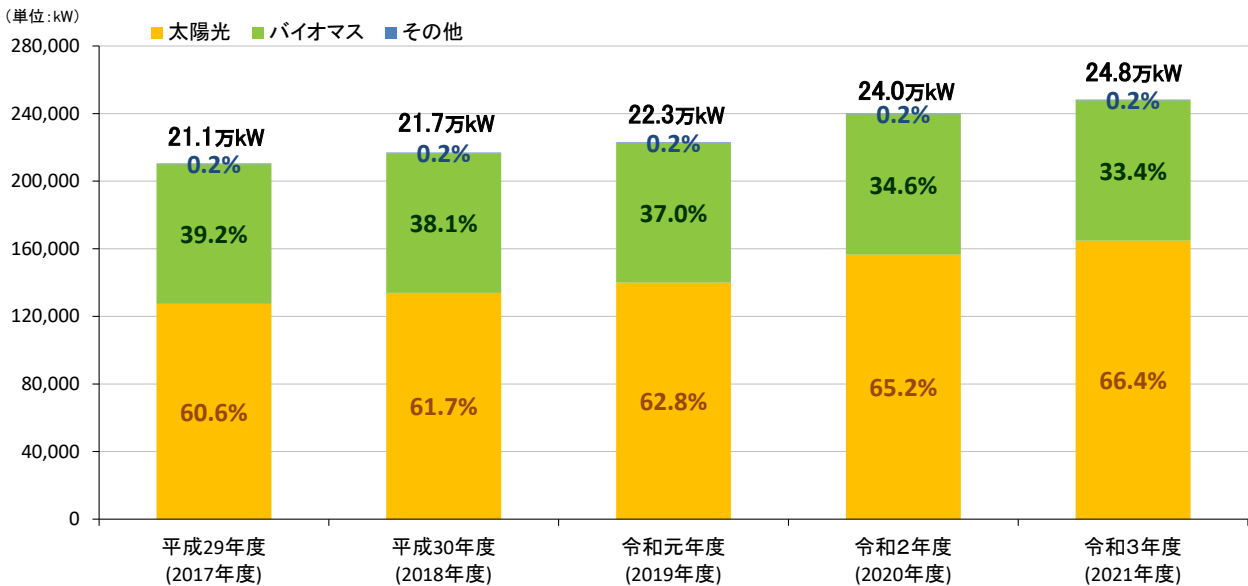
### (3) 福岡市域におけるエネルギー消費量等の推移

	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和2 /H25年度比
エネルギー消費量 (万GJ)	7,944	7,802	7,740	7,720	7,598	7,726	7,019	6,612	▲17%
世帯あたりの エネルギー消費量 (GJ/世帯)	27.8	25.8	25.2	24.4	23.9	21.0	20.2	20.1	▲28%
業務系建物床面積あたりの エネルギー消費量 (GJ/㎡)	0.94	0.91	0.88	0.88	0.87	0.78	0.78	0.73	▲22%

## 2 福岡市域の再生可能エネルギー導入状況

令和3年度における福岡市内の再生可能エネルギーによる発電規模は、24.8万kWと前年度と比べ約8千kW増加しています。

電源別の構成では、太陽光とバイオマスでほぼ占められています。



## 3 市役所業務にかかるエネルギー起源二酸化炭素排出量の状況

市役所業務にかかる2021(令和3)年度のエネルギー起源二酸化炭素排出量は、198千トンであり、福岡市役所地球温暖化対策率先実行計画の基準年度である2013(平成25)年度と比べ、19%減少しています。

